

日本サンゴ礁学会第10回大会 プログラム (2007年)

■口頭発表 11月23日(金)



講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
	8:50	開会挨拶	
座長 深見 裕伸 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)			
1-1	9:00	沖縄のサンゴ砂から分離された自由生活性と考えられる <i>Symbiodinium</i> spp.の系統解析	○広瀬慎美子(琉球大・理工・海洋環境)・James D. Reimer(琉球大・理・海洋自然・海洋研究開発機構)・日高道雄・須田彰一郎(琉球大・理・海洋自然)
1-2	9:15	リアルタイムPCR法を用いた環境中の褐虫藻細胞数定量方法の発展:遺伝型タイプ別定量システムの確立を目指して	山下 洋・○小池一彦(広大院生物圏)
1-3	9:30	イシサンゴはどの位の量の褐虫藻を環境中に放出しているのか:リアルタイムPCR法を用いたフィールド調査による検証	○山下 洋・小池一彦(広大院生物圏)・林原 毅(西海水研石垣)
座長: 広瀬 慎美子 (琉球大学大学院理工学研究科)			
1-4	9:45	サンゴより分離した新規海洋細菌の多様性解析	○廣瀬(安元)美奈(海洋バイオ・現JST沖縄CREATE)・笠井宏朗(海洋バイオ)・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)・渡邊俊樹(東大・海洋研)・志津里芳一(海洋バイオ)
1-5	10:00	除草剤および船底塗料の造礁サンゴに対するリスクと課題	○安村茂樹(WWFジャパン)・宮城俊彦(沖縄県衛生環境研究所)・大森保(琉球大・理)・渡辺俊樹(東京大・海洋研究所)
1-6	10:15	高栄養塩環境下での造礁サンゴにおける好適光環境の評価	○中村 崇(九州大学・理)・山崎征太郎・赤尾基文・山崎秀雄(琉球大学・理)
休憩			
座長 中村 崇 (九州大学大学院理学系研究科)			
1-7	10:45	富栄養化がサンゴ群体からの有機物排出に与える影響	○田中泰章・宮島利宏・小池勲夫・小川浩史(東大海洋研)・林原毅(西海区水研石垣)
1-8	11:00	海水中の過酸化水素が <i>Galaxea fascicularis</i> の抗酸化酵素生成に及ぼす影響	○樋口富彦(琉球大・院・理工学研究科)・藤村弘行・新垣雄光・大森保(琉球大・理)
1-9	11:15	サンゴ礁海水中のアミノ酸組成と海水温との関係	○鈴木 款・Casareto Beatriz・篠村理子(静岡大)・黒澤勝彦(成蹊大)・Charpy Loic (IRD・フランス)
座長 樋口 富彦 (琉球大学大学院理工学研究科)			
1-10	11:30	Vitamin B ₁₂ , Temperature and Coral ecosystem	○Agostini Sylvain・Suzuki Yoshimi (Shizuoka Univ.)・Casareto Beatriz (LARC & Shizuoka Univ.)
1-11	11:45	Effect of CO ₂ concentrations on <i>Pleurochrysis carterae</i> ; a coccolithophorid from Okinawan coral reef planktonic assemblage	○Casareto Beatriz (LARC & Shizuoka Univ.)・Niraula Mohan (Shizuoka Univ.)・Fujimura Hiroyuki (Ryukyu Univ.)・Suzuki Yoshimi (Shizuoka Univ.)
お昼			
13:00-14:45 ポスター発表および川口奨励賞受賞者ポスター紹介			
座長 鈴木 倫太郎 (駒澤大学応用地理研究所)			
1-12	15:00	サンゴ礁・海岸語彙と地名について	○目崎茂和(南山大学)・渡久地 健(沖縄協会囑託)
1-13	15:15	マーシャル諸島マジュロ環礁における有孔虫砂の生産-運搬-堆積収支	○茅根 創・安河内真(東京大・理)・山野博哉(国立環境研)・横木裕宗・佐藤大作(茨城大・工)・藤田和彦(琉球大・理)
1-14	15:30	モルディブ諸島マーレ環礁における礁湖側急斜面の堆積構造・形成過程とそこで発生した地盤崩壊	○菅 浩伸(岡山大)・横山祐典(東京大)・Mahmood RIYAZ (Environment Research Centre・Republic of Maldives)・鈴木 淳(産総研)・中島洋典(有明高専)
座長 杉原 薫 (福岡大学理学部)			
1-15	15:45	南西諸島における3,000~2,000 BPの海水準—ビーチロックの ¹⁴ C年代と分布高度による—	○小元 久仁夫(日本大学)
1-16	16:00	Halimeda sea vs. Nummulite sea	○井龍康文・高柳栄子・尾田太良(東北大・理)・佐藤時幸(秋田大・工学資源)・千代延俊(東北大・理)・西村昭・中澤 努((独)産業技術総合研)・塩川 智((独)石油天然ガス金属鉱物資源機構)
1-17	16:15	白保サンゴ礁でみられる海草藻場の急激な拡大	○長谷川 均(国士舘大学)
休憩			
座長 波利井 佐紀 (琉球大学大学院理工学研究科)			
1-18	16:45	海域タイプの違いによる流動特性の変化と赤土輸送・堆積状況について—平成18年度 冬季調査から—	○金城孝一・仲宗根一哉(沖縄県衛生環境研究所)・前田勇司・灘岡和夫・山本高大・有坂和真(東工大)・與儀喜真(沖縄県文化環境部)・宮城俊彦(沖縄県衛生環境研究所)・山中精一・宮川勝司(株)沖縄環境分析センター)・小谷和彦・飯田仁士(沖縄環境調査機)
1-19	17:00	石西礁湖における2007年の大規模白化について(速報)	○野島 哲(九大・院・理学府附属臨海実験所)・上野光弘(石垣市)・岡本峰雄(東京海洋大)
1-20	17:15	石西礁湖における1998年から2007年の造礁サンゴの白化	○木村匡(自然環境研究センター)・下池和幸, 渋谷拓郎(西海区水研石垣)・上野光弘
座長 谷口 洋基 (阿嘉島臨海研究所)			
1-21	17:30	2007年白化後の石垣島米原バック・リーフにおける生サンゴ被度	○麻生一枝(成蹊大学理工学部)
1-22	17:45	2007年夏期石垣島白保リーフ海域での高水温の時空間変動特性とサンゴ白化について	○灘岡和夫・山本高大・有坂和真・前田勇司・芦川浩太(東京工業大学)・茅根創(東京大学)・前川 聡(WWFサンゴ礁保護研究センター)・Enrico C. Paringit (フィリピン大学)
1-23	18:00	環境教育・行政・研究者のネットワークを活用した2007年夏のサンゴ白化データの収集	○山野博哉(国立環境研究所)・古瀬浩史(自然教育研究センター)・佐藤崇範(環境省石垣自然保護官事務所)

■口頭発表 11月24日(土)

講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名(所属)
座長 野澤 洋耕 (黒潮生物研究所)			
2-1	9:00	礁池内パッチリーフの面積や形状がサンゴ礁魚類の種類数に及ぼす影響	○服部昭尚(滋賀大・教育・理数情報)・洪野拓郎(水研セ・西海水研・石垣)
2-2	9:15	サンゴ礁魚類の産卵時刻-浮性卵はいつ産むべきか?	○桑村哲生(中京大学教養部)
2-3	9:30	ムラサキクマナマコの連続的性転換:個体間関係の影響	○新垣誠司(琉球大学理工学研究科)
座長 新垣 誠司 (琉球大学大学院理工学研究科)			
2-4	9:45	日本産 <i>Acropora hyacinthus</i> の英配置パターンの解析	○中森亨・栗原正臣・中村隆志・目崎拓真(東北大学・院・理)・野村恵一(串本海中公園センター)
2-5	10:00	ハマサンゴ <i>Porites australiensis</i> に見られる骨格異常の病理学的特性	○安田直子(琉球大・理工院・海洋環境)・中野義勝(琉球大・熱生研)・山城秀之(沖高専・生資源)・日高道雄(琉球大・理・海洋自然)
2-6	10:15	エダコモンサンゴのストレス応答(HSP70mRNAの増幅)を利用した環境モニタリング法について	○大城洋平・金城孝一・仲宗根一哉・宮城俊彦(沖縄県衛生環境研究所)
休憩			
座長 藤村 弘行 (琉球大学理学部)			
2-7	10:45	電着技術を利用したサンゴ成長促進技術について	○木原一禎(三菱重工橋梁エンジニアリング・学会法人登録)・鯉淵幸生・三浦ゆきこ(東京大)・田代賢吉(日本防蝕株)・近藤康文(株シーピーファーム・学会法人登録)
2-8	11:00	アザミサンゴの卵黄タンパク質の合成および卵母細胞への輸送についての免疫組織化学的解析	○早川英毅(東大海洋研)・安藤忠(北水研)・渡邊俊樹(東大海洋研)
2-9	11:15	沖ノ鳥島におけるイボハダハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora verrucosa</i> の放卵・放精とプラヌラ放出	○岡地 賢(有限会社コーラルクエスト)・井手 陽一(海洋プランニング株式会社)・利根川 誠・高野弘之(国交省関東地方整備局京浜河川事務所)・茅根創(東京大・理)
座長 磯村 尚子 (琉球大学大学院理工学研究科)			
2-10	11:30	静岡県内浦湾江梨地先産キクメイシ <i>Favia speciosa</i> の生殖巣の発達過程と産卵	○舟尾 隆(東海大海洋博)・吉田 徹((株)串本海中公園)・渡邊 哲((株)大和リゾート)・横地洋之(東海大海洋研)
2-11	11:45	マイクロサテライトマーカーを用いた石西礁湖のコクビミドリイシの集団遺伝学的研究	○中島祐一(琉球大・理工)・西川昭(James Cook University)・酒井一彦(琉球大・熱生研)
2-12	12:00	サンゴ幼生加入量調査が示唆するサンゴMPAのデザイン	○酒井一彦・岩田幸一(琉球大学・熱帯生物圏研究センター・瀬底実験所)
お昼			
座長 山本 広美 (沖縄美ら海水族館)			
2-13	13:15	サンゴ礁生態系と漁業の共存に向けて	○鹿熊信一郎(沖縄県水産課)
2-14	13:30	水族館でのサンゴ養殖に関する第一回国際シンポジウム」報告	○大森 信(阿嘉島臨海研究所)・野中正法(国営沖縄記念公園水族館)
2-15	13:45	沖ノ鳥島におけるサンゴ増殖技術の開発	○安藤 亘・渡邊浩二・藤田孝康・石岡 昇(水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)・佐藤昭人(水産庁漁港漁場整備部)
座長 日比野 浩平 ((財)自然環境研究センター)			
2-16	14:00	沖ノ鳥島海岸保全の取り組み -ハビタットマップの作成-	○高野弘之・利根川 誠(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)・井手陽一(海洋プランニング株)・岡地 賢(有)コーラルクエスト)・茅根創(東京大・理)
2-17	14:15	サンゴ礁生態系における10 ¹ ~10 ³ mスケールの空間構造研究がもつ保全上の意義	○中井達郎(国土館大学・非)
2-18	14:30	沖縄リーフチェック研究会の取り組み 沖縄島周辺海域での定点観測 -辺野古、大浦湾を中心として	○安部真理子・井口 亮・西原千尋(沖縄リーフチェック研究会)
休憩			
座長 安部 真理子 (琉球大学大学院理工学研究科)			
2-19	15:00	聞き取り・社会統計調査に基づくサンゴ礁生態系環境負荷に関わる八重山地域社会の現状と沿岸生態系保全へ向けた課題の考察	○熊谷航(海洋プランニング株式会社)・松浦慎平・瀬岡和夫(東工大・情報理工学研究科情報環境学専攻)
2-20	15:15	白保における観光シュノーケリングツアーのサンゴへの影響	○吉川朋子(玉川大学)・麻生一枝(成蹊大学)・前川聡(WWFサンゴ礁保護研究センター)
2-21	15:30	サンゴ礁生態系における観光影響評価と対策	○猪澤也寸志(エコガイド教育コンソーシアム)
座長 中野 義勝 (琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所)			
2-22	15:45	阿嘉島周辺海域におけるコミュニティ主体のサンゴ礁保全管理	○田村 實(阿嘉島臨海研究所)
2-23	16:00	レジャーダイビングインストラクター協働によるサンゴ礁再生事業	○山里祥二(NPO法人コーラル沖縄)・成田隆一(NPO法人コーラル沖縄)
2-24	16:15	エダミドリイシの再生をめざして-わしずみ王のくに自然再生プロジェクト-	○中野 晋(徳島大・環境防災研究センター)・安藝浩資(ニタコンサルタント株式会社)・内田紘臣(串本海中公園センター)
16:45-18:45		総会および学会賞・川口賞授賞式, 受賞講演	19:00- 懇親会・ポスター賞授賞式

■ポスター発表 11月23日(金) 13:00~14:45

発表者は、下記に割り当てられた発表時間にポスターの前でご説明下さい。なお、ポスターは23日昼まで展示します。

発表時間: 奇数番号 13:00~13:45; 偶数番号 14:00~14:45。川口奨励賞受賞者のポスター紹介もこの時間帯に行います。

講演番号	タイトル	発表者氏名(所属)
P-1	名護市屋我地島沖の小島周辺海底から湧くメタンについて	○山城秀之(沖縄高専)
P-2	全アルカリ度・全炭酸自動分析装置を用いたサンゴ礁海水の炭酸系連続観測	○石川恭平・藤村弘行(琉大・理・海洋自然)・樋口富彦(琉大院・理工・海洋環境)・福永剛士・島田幸治郎・大森保(琉大・理・海洋自然)・中岡篤子・津田雅也・紀本岳志(紀本電子工業)
P-3	サンゴ礁内の海底被覆状態と海水流動構造を考慮した炭酸系の時空間動態について	○山本高大・瀬岡和夫・有坂和真(東京工業大学)・茅根 創・寺井 誠(東京大学)
P-4	停留法による瀬底島北部サンゴ礁の有機・無機炭素生産量	○福永剛士・藤村弘行(琉大・理)・樋口富彦(琉大院・理工)・石川恭平・島田幸治郎・大森保(琉大・理)・中井達郎(国士舘大学・非)・中野義勝(琉大・熱生研)・B. Casareto・鈴木款(静大)・伊藤卓司(三菱商事)
P-5	Aragonite過飽和海水を用いたサンゴ礁内堆積物の溶解実験	○寺井 誠・茅根 創(東京大・理)・渡邊 敦(名古屋大・地球水循環研究センター)・所 立樹(東京大・理)・瀬岡和夫(東工大・情報理工)
P-6	Bacterial community structure in coral mucus and tissue and their effect on Coral (coral host, mucus and zooxanthellae)	○KESHAVMURTHY Shashank・深見公雄(高知大・黒潮圏海洋科学研究科)・岩田洋輔・向本康祐(高知大・農)
P-7	石垣島白保サンゴ礁におけるサンゴ礁群集の代謝測定とサンゴ礁の代謝メカニズムの解明	○中村隆志・中森 亨(東北大・院理)
P-8	Dynamics of available Dissolved Organic Matter in Coral Reef and Microbial respiration	○Fairoz M.F.M (Shizuoka Univ. ; Univ. Ruhuna, Sri Lanka)・Yoshimi Suzuki (Shizuoka Univ.)・Beatriz Casareto(LARC), Forest Rohwer (San Diego State Univ., USA)
P-9	Bioremediatory potential of crustose coralline algae in eutrophic waters	Yeong Shyan Yuen・Seitaro S. Yamazaki (Univ. Ryukyus)・Takashi Nakamura (Amakusa Mar Biol Lab, Kyushu Univ.)・Hideo Yamasaki (Univ. Ryukyus)
P-10	サンゴ礁礁原上における微地形構成が底生生物分布および水質環境に及ぼす影響について	○中井達郎(国士舘大学・非)・中野義勝(琉大・熱生研)・藤村弘行(琉大・理・海洋自然)・樋口富彦(琉大院・理工・海洋環境)・福永剛士・石川恭平(琉大・理・海洋自然)・鈴木款・B. Casareto (静大・院・先端創造)・伊藤卓司(三菱商事)
P-11	サンゴ共生系による窒素循環モデル	○城間和代・鈴木 款・AGOSTINI Sylvain(静岡大・創造科学技術大学院大学)・CASARETO Beatriz (静岡大・遺伝子研究施設)
P-12	Chemical Impacts of TBT and Herbicide (Diuron) on Coral Reef.	○Sheikh M.A・Shinoda Y・Imo S.I・Fujimura H・Higuchi T.(Univ. Ryukyus)・Yokota T・Uechi Y.(Okinawa Prefectural Enterprise Bureau)・Miyagi T.(Okinawa Prefectural Institute of Health & Environment)・Maekawa S・Yasumura S(WWF Japan)・T.Oomori(Univ. Ryukyus)
P-13	屋嘉田潟原および川平湾における冬期の海水流動等の物理環境解析	○前田勇司(東工大)・金城孝一(沖縄県衛生環境研究所)・瀬岡和夫・山本高大・有坂和馬(東工大)・仲宗根一哉(沖縄県衛生環境研究所)・與儀喜真(沖縄県文化環境部)・山中精一・宮川勝司(沖縄環境分析センター)・小谷和彦・飯田仁士(沖縄環境調査)
P-14	八重山諸島竹富海底温泉海域における物理環境の特性ー海底温泉の水温変動と周期性ー	○古島靖夫(JAMSTEC XBR)・長尾 正之・鈴木淳(産総研)・布浦拓郎・平山仙子・山本啓之・丸山 正・高井 研(JAMSTEC XBR)
P-15	エダミドリイシの産卵期の流動場の特性	中野 晋(徳島大・環境防災研究センター)・安藝浩資・岡田直也(ニタコンサルタント株式会社)・岩瀬文人(黒潮生物研究所)・清水里香(徳島大・工)
P-16	サンゴキャンピ層における局所的な流動構造特性とサンゴ幼生分散過程への効果	○有坂和真・瀬岡和夫・安田仁奈・滝野功(東工大・院・情報理工学研究科情報環境学専攻)
P-17	A Landscape Ecology Approach for Assessing Cover Change Dynamics and Long-term Watershed-Reef Connectivity	○Ariel C. Blanco(Tokyo Inst.Tech.; Univ. Philippines)・Kazuo Nadaoka (Tokyo Inst.Tech.)・Ma. Cecilia Rubio-Paringit, Enrico C. Paringit(Univ. Philippines)
P-18	石垣島名蔵湾におけるマングローブ堆積物コアを用いた赤土流出量の時間的変遷の復元	○高垣宏規・茅根 創(東大・理・地球惑星科学)・Varigini BADIRA・瀬岡和夫(東工大・情報理工・情報環境)
P-19	沖縄島本部半島・美ら海水族館沖における現成サンゴ礁の形成過程	○菅 浩伸(岡山大)・中島洋典(有明高専)・野中正法・山本広美(沖縄美ら海水族館)・小元久仁夫(日本大)・吉水剛志・鈴木茂之(岡山大)
P-20	サンゴ骨格に含まれる有機物の窒素同位体比変動	○山崎敦子・渡邊剛・川島龍憲・坂田智佳(北大)・大河内直彦・小川奈々子(JAMSTEC)・植松光夫(海洋研)・白鳳丸KH06-2乗船者一同
P-21	日本と韓国に分布する造礁サンゴの群集組成と骨格年輪を用いた環境指標の構築	○山野博哉(国立環境研究所)・杉原 薫(福岡大)・渡邊 剛(北大)・島村道代・Kiseong Hyeong(韓国海洋研究院)
P-22	過去1万年間の石垣島とPalauのサンゴ礁形成過程	○本郷宙軌・茅根創(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)
P-23	太枝状Acropora化石を用いた喜界島完新世離水サンゴ礁段丘の形成過程の復元	○杉原薫・丹孝博(福岡大・理)・本郷宙軌(東京大・院理)
P-24	高緯度域でみられるFaviaの形態的特徴	○永田俊輔・杉原薫(福岡大・理)・山野博哉(国立環境研)
P-25	沖縄県古宇利島沖におけるヤギ類(花虫綱・八放サンゴ虫綱)の分布	○野中正法(沖縄美ら海水族館)
P-26	石垣島白保サンゴ礁における造礁サンゴ類の詳細分布地図	○鈴木倫太郎(駒澤大・応用地理研究所)・長谷川均(国士舘大)・前川聡(WWFジャパン)・市川 清士(駒澤大・非常勤講師)・柴田 剛(内外地図株式会社)・後藤 慶之(駒澤大)
P-27	南北大東島の造礁サンゴ群集(2007年の調査結果速報)	○木村 匡(自然環境研究センター)・林原 毅(西海区水産研究所石垣支所)

講演番号	タイトル	発表者氏名(所属)
P-28	沖ノ鳥島における底質および生物分布に関するハビタットマップの作成手法について	○井手陽一(海洋プランニング(株))・岡地 賢((有)コーラルクエスト)・利根川 誠・高野弘之(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)・茅根 創(東京大・理)
P-29	沖ノ鳥島の流動特性とサンゴの分布特性	○高尾敏幸・白木喜章・柴木秀之(㈱エコー)・安藤 亘(水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)
P-30	高知県大月町西泊における造礁サンゴの産卵とその様式について	○日崎拓真(東北大)・岩瀬文人・野沢洋耕・中地シュウ(黒潮生物研究所)・宮本麻衣・渡辺美穂(東海大)・林 徹
P-31	バリカメノキクメイシの性的資源配分と幼生保育	○甲斐清香(琉球大・院・理工)・林千緒(琉大・理)・酒井一彦(琉球大・熱生研)
P-32	飼育下トゲスギミドリイシから得られた卵と幼生の健康状態	○山本広美・高岡博子・金谷悠作(沖縄美ら海水族館)
P-33	藻食性巻き貝の存在がミドリイシ属ブラヌラ幼生の着生に及ぼす影響	○林原 毅・洪野拓郎・阿部 寧・玉城泉也・伏屋玲子・加藤雅也(水究セ・西海区水研・石垣)
P-34	ホタテ貝殻を用いたコンクリートブロックにおける造礁サンゴの着生に関する研究	○藤井文彦(東海大・院・海洋学研究所)・渡邊晋也(東海大・院・理工学研究所)・迫田恵三(東海大・海洋学部海洋建設工学科)・井上陽佳(新日本石油株式会社 研究開発本部 開発部)
P-35	ミドリイシ幼生の着生変態を誘導するバクテリアの効率的単離	○松島夏苗(お茶の水女子大・院・人間文化研究科)・服田昌之(お茶の水大・湾岸生物教育センター)
P-36	幼サンゴの生存における微地形(ギャップ)の効果	○野澤洋耕(黒潮生物研究所)
P-37	四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入について2004-2007	○渡邊美穂(東海大・院・海洋学研究所)・岩瀬文人(黒潮生物研究所)・横地洋之(東海大・海洋研究所)
P-38	慶良間諸島における網状基盤を用いたサンゴ群集再生の試み	○山木克則(鹿島技術研究所)・宮城清(座間味ダイビング協会)・和山通年(座間味村漁業協同組合)・大葉英雄(東京海洋大)・日野林讓二(タキロン(株))
P-39	石西礁湖のリーフに着生した稚サンゴの個体追跡	○毛塚大輔・岡本峰雄(海洋大)
P-40	サンゴ片移植によるサンゴ群集創出における逐次多回移植法	○西平守孝(名桜大学)
P-41	パラオ共和国でのミドリイシ属サンゴ種苗生産のその後	○岩尾研二・田村 實・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)・木村 匡((財)自然環境研究センター)・大森 信(阿嘉島臨海研究所)
P-42	沖ノ鳥島でのサンゴ種苗の確保	○綿貫啓(アルファ水工(株))・青田徹(㈱不動テトラ)・藤田 孝康・安藤 亘(水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)
P-43	水槽内におけるサンゴ種苗生産	○中村良太・渡邊浩二・藤田 孝康・安藤 亘・石岡 昇(水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)・北野倫生(㈱エコー)
P-44	沖ノ鳥島のサンゴの広域分布と新規加入特性	○北野倫生・三宅崇智・山本秀一(㈱エコー)・藤田孝康・安藤 亘(水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)
P-45	沖ノ鳥島のミドリイシサンゴはどこから来たのか?	○深見裕伸(京都大学フィールド科学教育研究センター)・林原 毅(西海区水産研究所)・石岡 昇(社団法人 水産土木建設技術センター)・三上信雄(水産工学研究所)
P-46	アオサンゴ初期生態の解明に向けた幼生放出・分散調査と分子マーカーを用いた幼生親子判別の試み	安田仁奈・灘岡和夫・○滝野 功・有坂和真(東工大・情報理工)・練 春蘭(東大・アジア生物資源環境研究センター)・長井 敏(瀬戸内海区水研)・木村 恵(東大・アジア生物資源環境研究センター)
P-47	飼育下におけるトゲスギミドリイシの遺伝的多様性について	○磯村尚子(琉球大・院・21世紀COE)・山本広美(沖縄美ら海水族館)
P-48	アザミサンゴ(<i>Galaxea fascicularis</i>)の遺伝子及び形態に基づく多様性	○安部真理子(琉球大・理工)・鈴木悠太・渡辺俊樹(東京大・海洋研)・日高道雄(琉球大・理)
P-49	加速進化する遺伝子の探索ーサンゴ研究への応用を目指してー	○井口 亮・西川 昭・David Miller (Comparative Genomics Centre, James Cook University)
P-50	The Sox gene family in the coral, <i>Acropora millepora</i>	○新里宙也・David Miller (Comparative Genomics Centre, James Cook University)
P-51	サカサクラゲ <i>Cassiopea</i> sp.におけるテロメラーゼ活性およびテロメアについて	○大慈彌みち子・磯村尚子(琉球大・理工院)・日高道雄(琉球大・理)
P-52	ウミウシアロモンとアクチンの多様性	○田中千晶(琉大・理工)・田中淳一(琉大・理)・川西祐一・中島裕美子(琉大・理工)
P-53	クシハダミドリイシで発見されたミトコンドリア遺伝子の多様性ー過去の個体群分断の証拠ー	○鈴木豪(京大・農)・林原毅(西海区水産研・石垣)・白山義久・深見裕伸(京大・瀬戸臨海)
P-54	フィリピン・沖縄・高知のサンゴ礁海域におけるカロテノイド生産菌の探索について	○住谷保治(近畿大学農学部)
P-55	アンケート調査からみた沖縄島におけるハブクラゲの分布	○岩永節子(沖縄県衛生環境研究所)・金本昭彦(海洋プランニング(株))・安仁屋真勝(㈱沖縄環境保全研究所)・山本広美(沖縄美ら海水族館)
P-56	高知県南西部におけるサンゴ食巻貝レイシダマシ類のイシサンゴ類への集団形成に関する特徴	○加藤芽衣(高知大・農)・山岡耕作・大谷和弘(高知大・黒潮圏海洋科)・岩瀬文人(黒潮生物研)
P-57	四国西南部におけるオニヒトデの発生状況について	○中地シュウ(黒潮生物研究所)・竹葉秀三(竜串観光振興会)・富永基之(足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティアの会)・森田輝男(沖ノ島海洋レジャー事業組合)・吉田修次(愛南町地域振興課)
P-58	琉球列島産無節サンゴモ(紅藻サンゴモ目)の系統分類学的研究	○加藤亜記(琉球大・院・理工)・馬場 将輔(財 海洋生物環境研究所)・須田 彰一郎(琉球大・理・海洋自然)
P-59	ヒメサンゴヤドリガニ <i>Pseudohaplocarcinus ransonii</i> の繁殖システムに関する生態学的研究	○本門奈央子(琉大理工学研究科)・土屋 誠(琉大理学部)
P-60	駿河湾のサンゴ礫地におけるオイランヤドカリの宿貝	○重村勇作(東海大・海洋・院)・中島匠(東海大・海洋)・上野信平(東海大・海洋)

講演番号	タイトル	発表者氏名(所属)
P-61	サンゴ礁“ガレ場”の重要性(1):ガレ場の環境特性について(予報)	○藤田喜久(琉大/NPO法人 海の自然史研究所)・中野義勝(琉大熱帯生研瀬底)・小淵正美(東工大)
P-62	サンゴ-海草共生群落に見られる相対的関係性の検討	○中野義勝(琉大熱帯生研瀬底)・二宮早由子・井上隆仁(東京久栄)・Preetika Singh・矢野優佳・土屋誠(琉大・理)
P-63	沖縄島備瀬におけるリュウキュウスガモ <i>Thalassia hemprichii</i> の分解	○矢野優佳(琉大・理工)・中野義勝(琉大熱帯生研瀬底)・土屋誠(琉大・理)
P-64	サンゴ礁池におけるサンゴ-海草共生群落と海草群落での海草の生長と組成の季節変化について	○二宮早由子・井上隆彦(株東京久栄)・中野義勝(琉大・学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所)・矢野優佳(琉球大学大学院理工学部)・Preetika Singh(琉球大学大学院理工学部)・土屋誠(琉球大学理学部)
P-65	Coral Symbiotic Microalgae produce Nitric Oxide	○Josee Nina Bouchard・Hideo Yamasaki (Faculty of Science, University of the Ryukyus)
P-66	ムカデミノウミウシ体内の褐虫藻多様性と褐虫藻の適合性	○依藤実樹子・渡邊俊樹(東大・海洋研)
P-67	Diversity of symbiotic algae (Zooxanthellae) in zooxanthellate corals from temperate Japan	○Y-T Lien (Kyoto University)・H. Fukami (Kyoto University, Seto)・Y. Yamasita (Kyoto University, Maizuru)・CA. Chen (Academia Sinica, Taiwan)
P-68	サンゴと渦鞭毛藻の細胞内共生に関する遺伝子の解析	○湯山育子・渡邊俊樹(東京大学海洋研究所分子海洋科学分野)
P-69	サンゴ幼生の分散特性-褐虫藻は幼生にエネルギーを供給しているか?	○波利井佐紀(琉球大・理工)・山本正信(北大)・O Hoegh-Guldberg (The University of Queensland)
P-70	ミドリイシ幼生2種の褐虫藻獲得:取り込み時期と幼生内分散パターン (Symbiosis establishment in two acroporid larvae: Timing of onset and pattern of algal distribution in larvae)	○安田直子(琉球大・理工・海洋環境)・波利井佐紀(琉球大・理工)・Mauricio Rodrigues-Lanetty (The University of Queensland)・日高道雄(琉球大・理・海洋自然)
P-71	異なる褐虫藻遺伝子型を感染させたコビミドリイシ一次ポリプの高温ストレス耐性	○諏訪僚太(琉球大・院・理工・海洋環境学専攻)・日高道雄(琉球大・理・海洋自然科学科)
P-72	高温ストレスに対するサンゴの応答:褐虫藻色素の分析と解析	○太期一弘(静岡大・理・生物地球)・中野義勝(琉球大・熱生研)・Beatriz E. Casareto(静岡大創造科学技術大学院/LASC)・鈴木 款・塩井祐三(静岡大創造科学技術大学院)
P-73	長期飼育実験系によるサンゴの水温反応に関する研究	○古賀奏子(琉大・理工)・酒井一彦(琉大・理)・森本直子(琉大・理工)・入江貴博(九大・理)・川幡穂高(東京大・新領域創成科学)・鈴木淳(産総研・地質情報研究部門)
P-74	2007年阿嘉島周辺の白化状況	○谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)
P-75	石垣島白保サンゴ礁における2007年の大規模白化の状況ならびに被度の変化	○前川 聡・鈴木 智子(WWFサンゴ礁保護研究センター)
P-76	2007年夏の石西礁湖のサンゴ白化状況	○波野拓郎(水研セ・西海水研・石垣)・下池和幸・木村匡(自然研)・林原毅(水研セ・西海水研・石垣)
P-77	八重山周辺海域におけるサンゴ白化の変遷	○佐藤崇範・廣澤一(環境省石垣自然保護官事務所)・小林朋代(いであ株式会社)
P-78	石西礁湖及び西表島周辺海域で観察された冬期白化現象について	○上野光弘(八重山漁協)
P-79	四国西南海域における造礁サンゴ群集の白化と病気について	○宮本麻衣(東海大・院・海洋)・岩瀬文人(黒潮生物研究財団研究所)・横地洋之(東海大・海洋研)
P-80	Experimental approaches for testing coral diseases caused by bacteria in Okinawan coral reef	○Casareto Beatriz (LASC and Shizuoka University)・Yoshinaga Koichi・Suzuki Yoshimi (Shizuoka University)
P-81	石垣島白保アオサンゴ群落周辺部のコビエダハマサンゴにみられる生組織の喪失	○麻生一枝(成蹊大学理工学部)
P-82	サンゴを用いた沿岸環境評価法の開発	○ヤップミンリー・Kakaskasen A.Roeroe・岡本峰雄(東京海洋大学)
P-83	エダミドリイシを対象とした生息適性度評価	○安藝浩資(ニタコンサルタント株式会社)・中野 晋(徳島大・環境防災研究センター)・岡田直也(ニタコンサルタント株式会社)・藤田真人(徳島大・環境防災研究センター)
P-84	石西礁湖の自然再生事業について	○廣澤 一・佐藤崇範(環境省石垣自然保護官事務所)・小林朋代(いであ株式会社)
P-85	東アジア・ミクロネシア地域サンゴ礁MPAデータベース	日比野浩平・木村 匡((財)自然環境研究センター)・○中島慶次(環境省自然環境局自然環境計画課)
P-86	サンゴ礁再生事業 一香川県と沖縄県を結んで一	○成田隆一(NPO法人コーラル沖縄)・山里祥二(NPO法人コーラル沖縄)
P-87	研究者と環境教育実践者の協働によるサンゴ教育プログラム開発の試み「サンゴ15プロジェクト」	○浪崎直子(特定非営利活動法人OWS)・藤田喜久(NPO法人 海の自然史研究所/琉球大学・非常勤講師)・中野義勝(琉大熱帯生物圏研究センター瀬底実験所)
P-88	陸上サンゴ養殖への取り組み(第3期を向えて)	○平良栄康・岡田敏(株式会社Aqua Culture Okinawa)
P-89	沖縄の港湾におけるサンゴ礁調査の手引きと環境共生技術	前幸地紀和・知念直・仲村進一・○仰木芽久美(内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課)・池田義紀・小島栄(財)港湾空間高度化環境研究センター)・岩村俊平・山本秀一(株エコ-沿岸環境部)・高橋由浩(株エコ-沖縄事務所)
P-90	石油ピーク問題から考えるサンゴ礁保全	○鈴木泰英(株式会社シーズ環境教育事業部)
P-91	国際海洋環境情報センター(GODAC)のサンゴ礁ネットワークWEBシステム(琉球列島周辺サンゴ礁生態系画像データベース)更新への取り組みについて	○宮城 博・仲村 亮・菊池裕美・玉城綾子・玉城哲雄(株式会社マリン・ワーク・ジャパン)・古島靖夫・廣瀬重之・松永富也・園田 朗・設楽文朗・山本啓之・丸山正(独. 海洋研究開発機構(JAMSTEC))
P-92	白化しているサンゴに群がるRhodobacteria	○吉永光一・Casareto Beatriz・鈴木 款(静岡大学創造科学技術大学院)